

資料5-2 起草委員会意見一覧(保健・福祉、生活・環境)

No.	施策	施策名	項目	発言者	意見	事務局回答	備考
1	4	地域における子育て支援				【事務局から問題提起】 審議会意見で、わがまち支えあい協議会や民生委員を出した方がいいのではといった意見があったが、主管課は施策20で整理すると回答している。施策20に含まれる内容ではあるが、子育て支援についての関わりは言及されていないと感じたため、このままで問題ないか意見を伺いたい。	民生委員は児童委員も兼ねることから、「施策4 地域における子育て支援」におけるひとつの支援者としての記載も検討事項ではないかと考え、お諮りしたものです。 また、わがまち支えあい協議会は社協が立ち上げた民間のボランティア団体ですが、スペースの都合により「等」表記とするか、図解で関わる人達を記載するなど引き続き検討できるものと捉えています。
2	4	地域における子育て支援		伊藤委員	民生委員の役割は国の機関。地区の民生委員が独自で子供の事業に関わることは問題ないが、国の施策として関わるのは難しい面があると思う。		
3	4	地域における子育て支援		山口委員	民生委員は役割が違うため、記載すべきでないと思う。現状の内容で問題ない。		
4	5	妊娠期から子育て期までの継続的な支援	指標	青山委員	「妊娠11週以内の妊娠届け出率」が調整中となっている背景は。	前期では乳幼児受診率を指標に設定していたが、完了しており、起草委員会からも指摘があったため入れ替えたもの。前後の関係性が見えづらく調整事項としている。	その後、担当課と調整のうえ、取組は大事であるものの、現時点で相当に高い数値であり、市の事業が11週以内の届け出の増加に直接寄与するとは言い難いことから、総合計画上の指標管理には至らないという判断となりました。
5	5	妊娠期から子育て期までの継続的な支援	指標	青山委員	妊娠11週の指標の基準値が約96%と割と高いが設定する必要があるのか。100%を目指さないといけないのか。	内部でも指標管理の必要性については疑義があるが、主管課からは国が11週での届出を推奨していること、関係機関でも進めていくことから重要と考えている。設定については引き続き調整する。	その後、担当課と調整のうえ、取組は大事であるものの、現時点で相当に高い数値であり、市の事業が11週以内の届け出の増加に直接寄与するとは言い難いことから、総合計画上の指標管理には至らないという判断となりました。
6	5	妊娠期から子育て期までの継続的な支援	指標	青山委員	この指標に積極的な意義を見出すならば、施策の方向性等で言及すべき。「漏れのない届出を推進する」など、予期せぬ妊娠の場合は届出しにくいということもあると思う。そういったことも後押しすることと思うため、表記を工夫してほしい。	-	その後、担当課と調整のうえ、取組は大事であるものの、現時点で相当に高い数値であり、市の事業が11週以内の届け出の増加に直接寄与するとは言い難いことから、総合計画上の指標管理には至らないという判断となりました。
7	5	妊娠期から子育て期までの継続的な支援	指標	菊地委員	残り0.4%に対する取組ではなく、既に出している人への事業となる。医療機関との連携ということで、そこが0.4%につながると思うため、主要な取組の表記を修正する方が指標との連動が取れると思う。	周知のところを主管課でも実施することを記載するかと思うため、指標を追加する場合は表記工夫を対応していきたい。	その後、担当課と調整のうえ、取組は大事であるものの、現時点で相当に高い数値であり、市の事業が11週以内の届け出の増加に直接寄与するとは言い難いことから、総合計画上の指標管理には至らないという判断となりました。
8	7	教育・保育サービスの充実	施策の方向性	山口委員	「医療的ケアが必要な児童など」という文言が追加された。幼稚園や保育園に常時看護師を配置する体制を整備していくと読めるが、その認識で合っているか。	新たな体制づくりではなく、現状看護師を配置して医療的ケア児を受け入れている中で、引き続き事業者の協力を得ながら、拡大できるところは拡大していくという趣旨と認識している。詳細は担当課に確認する。	取組が始まっていないように読める書き方であったことから表現を見直します。また、施策の方向性では医療的ケア児に限らず、障害児にも力を入れていきたい考えから全体的な表現とすることとし、記載を修正いたしました。
9	7	教育・保育サービスの充実	施策の方向性	山口委員	既に医療的ケア児の受入れを実施しているという認識でいいのか。	2・3年前から受入れを開始している。学校でも実施している。	
10	7	教育・保育サービスの充実	施策の方向性	山口委員	新たに取り組む内容かと思って確認した。	-	
11	7	教育・保育サービスの充実	主要な取組	山口委員	施策13で対応していると認識していたが、それが保育園等にも拡大していくということか。	ご認識のとおりです。	
12	7	教育・保育サービスの充実	指標	山口委員	医療的ケアの文言を追加しているが、この指標はなくていいのか。掲げているけれど数値として目標は設定しないという理解でいいのか。	医療的ケアが必要な子供の数の予測は難しい側面もあり、受入れ数を設定するのは難しいと認識している。	
13	7	教育・保育サービスの充実	指標	山口委員	その点は理解できるが、受入体制を整えていくという理解でいいのか。記載があると、どういう取組があるのか気になる方がいると思う。	受入施設や看護師の数などは出せると思うので、検討する。	受け入れ体制の拡充であり、個々のケースに応じて対応できるよう取り組みますが、施設や看護師の数のみで進捗をお示しできる性質のものでないと考え、指標とすることは見送りたい考えです。
14	7	教育・保育サービスの充実	主要な取組	山口委員	「ワークライフバランスのあり方」という表記になったが、就業率とは意味が異なる。女性に限定しないということで修正したのは理解できるが、ワークライフバランスというもまた異なる意味になってしまうのでは。	言葉の正確な確認ができていないが、女性に限った表現にしないということで、再調整する。	委員の皆さまの意見を踏まえ、表現を見直しました。
15	7	教育・保育サービスの充実	主要な取組	青山委員	ワークライフバランスが出た背景には、男性も育児に関わっていくことが求められていることもあると思うため、それが読み取れる文章にしてほしい。		委員の皆さまの意見を踏まえ、表現を見直しました。
16	7	教育・保育サービスの充実	主要な取組	菊地委員	誰でも保育では「ワーク」していなくても保育すると思うが、ワークライフバランスという言葉では含まれないのではないかと。		委員の皆さまの意見を踏まえ、表現を見直しました。

No.	施策	施策名	項目	発言者	意見	事務局回答	備考
17	7	教育・保育サービスの充実	主要な取組	山口委員	保育の提供という取組の中で、保育時間の延長など、ただ延長するだけではダメであり、そのためあり方が見直されているので、そういったことも含めて意見した。		委員の皆さまの意見を踏まえ、表現を見直しました。
18	20	つながり支え合う地域づくり		青山委員	施策20に文言として民生委員は出てこない、どこで説明されているのか。		
19	20	つながり支え合う地域づくり		菊地委員	前期で民生委員の写真を掲載しているので事務事業レベルに入ってきているのでは。主管課もそれでよしとするスタンスなのかもしれない。	主管課の回答の施策20で記載していますというのは含まれているという趣旨かと思う。施策20には広い視点で書かれているため、調整していきたい。	
20	20	つながり支え合う地域づくり		青山委員	改めて前期計画を見ると写真が入っている。後期では民生委員や社会福祉協議会の記載がない。読み手には伝わりにくいため検討いただきたい。	菊地委員指摘のとおり事務事業に入っている。表現は調整する。	どちらも市の重要な連携・協働のパートナーである一方、民生委員は国による委嘱、社会福祉協議会は民間の組織であるため、その記載と比較して市の施策としての考えを打ち出すことを優先した内容としております。今後、図表を用いた関係性の見せ方が整理できないか検討します。
21	20	つながり支え合う地域づくり		伊藤委員	本来は厚生労働大臣の委嘱であり国の施策だが、府中市では社会福祉委員という役割を担っているため市の施策に記載されている。民生委員として役割がまとまってしまっている。		
22	20	つながり支え合う地域づくり		山口委員	施策の方向性に入れると民生委員の負担が重くなるように思う。国の事業として役割持っている方々のためその点配慮してほしい。		
23	21	安心して生活できる福祉環境の整備	主要な取組	伊藤委員	権利擁護センター事業が主要な取組にあり、市から出している未来ノートが好評であるが、記載しなくてもいいのか。	具体例の記載はないが、役割は大きいと思うため表記については調整する。個別計画との調整を図る。	施策21は福祉環境の整備や体制作りを念頭において作成しています。未来ノートは具体的な取組みのひとつであるため、個別計画での掲載のほうが適していると考え、総合計画への掲載は予定していません。高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画には、すでに掲載しています。
24	21	安心して生活できる福祉環境の整備	主要な取組	青山委員	素案の修正案44ページ「の」が重複しているため訂正ください。	修正します。	
25	31	地域安全の推進	現状と課題	青山委員	青字で追加された部分、適した追記で良いと感じた。		
26	32	防災危機管理体制の強化	施策の方向性	青山委員	方向性の中で、高齢者や障害者等の部署との連携が明記され、とても良いと感じた。これまで縦割りを感じていて何度か意見したが、連携を明示され心強いと感じた。		
27	32	防災危機管理体制の強化	指標	菊地委員	32の指標は調整中となっているが、むりやり2個にするものなのか。	指標は各項目と連動する設定のところ、現行案では資材の整備に関して測れるものがないため主管課と調整している。市民の安心にもつながると思うため、トイレの充足率の追加を検討している。	その後の担当課との調整で、災害用トイレの整備は既に着手していることと、長期的な避難所運営においてはトイレの回復も考えられることから、今後力を入れていく予定の後期高齢者用の寝環境に関し、段ボールベッドの整備率を指標としたい考えです。
28	33	地域防災力の向上	指標	青山委員	主要な取組 防災意識啓発事業において「自主防災組織連絡会の活動を促進します。」と記載があるが、指標から連絡会の立上げを削除した理由は、立上げが完了するからと説明を受けて理解していたが、取組として、立ち上がっているのならば、この活動がどういふものなのかを説明していく方がいいのでは。あえていうなら自主防災連絡会とリンクさせて、市民の意識が高まったという指標にするといいのでは。	市としても力を入れて取り組んできたが、今までは構築に注力してきた。これからは活用し意識を高めていくべきとなるが、どうかたちで指標に反映していくかは主管課と調整していきたい。感覚としてはそこまで検討が進んでいないと思っているが、次年度の取組を確認して調整していきたい。	前期計画中の立ち上げ完了を目指して取り組んでいますが、現時点では途中であることから、立ち上げ後の実情や課題を踏まえた上で踏み込んだ記載を検討いたしたく、現時点では活動の促進といった総括的な記載にとどめています。
29	33	地域防災力の向上		青山委員	LINEで防災に関する情報を得ている。マンションでは管理組合での活動が多く、地域の防災組織の情報が届きにくい。国際通りにはマンションがたくさん建設されているが、その住人にどう情報がいくのか懸念。そこも含めて事業の方向性を検討いただきたい。		
30	34	震災に対応した建築物等の誘導	現状と課題			【事務局から問題提起】 指摘以外の主管課希望による修正が目立つ。対象の具体性が抜けており、一般論として表現したかたちになった。読みやすさを追求した結果で、概要を伝えることもなくはないと思っはいる。審議会に出すにあたり、起草委員会で議論された内容での修正ではないため、意見を伺いたい。	
31	34	震災に対応した建築物等の誘導	現状と課題	渡辺委員	個人的には悪くはないと感じた。問題提起を現状と課題でいって、具体を主要な取組に記載するというかと思うためいいと思う。		
32	34	震災に対応した建築物等の誘導	現状と課題	青山委員	修正前は異質な印象があった。煩雑な印象もあった。本質的な文章に修正されている印象のためいいと思う。文頭は「耐震基準を満たさない建築物の・・・」という表現でもいいと感じた。		

No.	施策	施策名	項目	発言者	意見	事務局回答	備考
33	34	震災に対応した建築物等の誘導	現状と課題	菊地委員	自分の家が旧耐震かどうかはわからないと思う。旧耐震・旧耐震・新耐震の3つあると思う。変更案の方が時系列的にははっきりしている。		
34	34	震災に対応した建築物等の誘導	現状と課題	金子委員長	修正後の内容がいいという意見が出た。	ご意見ありがとうございました。	
35	全体				【事務局から指標の説明】 ・アウトプットとアウトカムの定義 ・指標設定における各課との調整状況		
36	全体		指標	菊地委員	意見リストNO.24(施策4), NO.85(施策14)など、起草委員会でも目標値が下がっている理由を確認してきた。審議会や市民が初めて見た際も同様に疑問に思うだろう。説明を聞けばわかるが、都度説明するわけにもいかず、どう説明するのがいいのかわからない。一般的に目標値は伸びていくことを想像する。下がっている背景を簡単に文字化することは難しい。延々とこのやり取りが続くのもいかなものか。代替案はないが、懸念事項。	議論の中で理解いただける一方で、ご指摘の通り、初見では疑問に思う方がいらっしゃると思うため、表記について検討していきたい。(MURC)他自治体の例だと、指標の下に補足で注釈をつけるケースがある。(事務局)総合計画のだけでなく行政評価も含めて1セットとなる。総合計画上で全てを記載することは難しく、簡単な説明にとどまると思われる。	
37	全体		指標	金子委員長	トレンドが分かるように図等で見せていくのがいいと思う。	アウトプット指標を示さずにアウトカム指標を示している点が分かりにくくなっている原因と思われるため、工夫したい。	
38	全体		指標	青山委員	指標の考え方(アウトプット、アウトカム、目標値)等を記載した資料を計画書に入れていただきたい。	前期計画では、見開きで説明するページを作成したが、簡単な記載であるため、後期計画での記載は検討する。	
39	全体		指標	菊地委員	ロジックモデルで組み立てる手前には事業に対する投入資源の話があると思う。それらについては、来年度議論するものか。投入資源が決まらなければロジックモデル的にはアウトプット、アウトカムは決まらないのではないかと。他の自治体では総合計画と一緒に財政フレーム等を作ることによって、その投入資源量を担保する形にしていると思う。現行では第5章の行財政運営でそういった財政フレームみたいな話が出てくるものなのか、確認したい。	財政フレームの関係は、序論と第5章行財政運営で資源投入について考え方を示す形になる。総合計画の実現のためにどうやっていくかというところを行政評価等を絡めて表現していくことになる。(行政経営課)事務事業を設定して目標を立てているが、その指標のお示しがかなり後になる。それが分かりにくい原因となっていると思う。ロジックモデルで組み立ててはいるが、お示しできていないところがあるため、わかりにくくなってしまっている。	
40	全体		指標	菊地委員	素案に記載されている各指標は、現行の計画上の事務事業の行政評価、中間評価を基に投入量を見込んでいるという認識で良いか。	各施策レベルで評価をしており、それを背景に議論している。	
41	全体		指標	菊地委員	資源を投入して事業を実施した結果、アウトプットやアウトカムの結果が出せるが、設定にあたり、先の目標を設定してから手前の目標を後から決めるように聞こえたため確認した。各課は前期の評価をもとに指標を設定しており、来年度以降、その効果を発揮するための投入資源量を事務事業に落とし込んでいくと理解した。	前期を伸ばして後期の指標を設定しているものがある。各課の回答で目標値を上げることに懸念を示しているのは、前期の実績を踏まえた理由もあるからだと思う。	
42	全体			渡辺委員	起草委員会で一度決めた内容を今の段階で意見することに難しさを感じている。何度も調整していただいていると思うため、意見しても修正されていないものはそういう考えだということに理解している。	—	